
中心市街地活性化基本計画 令和5年度最終フォローアップ報告

令和6年9月

内閣府地方創生推進事務局

目 次

I. 中心市街地活性化基本計画 令和5年度最終フォローアップの概要 ……	1 ページ
II. 計画期間終了後の中心市街地活性化基本計画の評価 ……	2 ページ
(1) 進捗・完了状況及び活性化状況に係る自治体の自己評価	
(参考①) 中心市街地活性化協議会からの評価	
(参考②) 市民からの評価、市民意識の変化	
III. 目標指標分野別分析結果の概要 ……	4 ページ
(1) 集計結果	
(2) 取組の進捗状況	
(3) 目標達成の状況	
(4) 基準値からの改善状況	
IV. 取組の進捗・完了状況及び目標達成状況に関する各自治体からの報告	10 ページ

※好事例集については、別途とりまとめ内閣府ホームページにて公表します。

I. 中心市街地活性化基本計画 令和5年度最終フォローアップの概要

最終フォローアップについて

- 国の認定を受けた中心市街地活性化基本計画では、各自治体が複数の目標を掲げている。各目標においては、その達成状況を的確に把握できるよう、定量的な指標（目標指標）を設定している。
- 当該基本計画については、各自治体自ら計画期間満了後に、関連する事業等が予定どおり完了したのか、目標は達成されたのか等を自己評価（最終フォローアップ）として報告することとしている。
- 最終フォローアップによって明らかとなった評価結果を踏まえ、必要と認められる場合には、新たな基本計画の作成を含め中心市街地の活性化に資する取組を引き続き継続的に実施していくことが重要である。

令和5年度最終フォローアップ対象計画

7市 7計画 22指標（詳細はP.10に掲載）

【参考：令和4年度】16市町 16計画 56指標

取組の進捗状況と目標達成状況に関する集計結果

- 最終フォローアップ対象22指標のうち、関連する事業等が概ね予定どおり完了した指標は16指標（73%）であった。
- また、目標達成状況については、基準値※より改善した指標が11指標（50%）、目標の達成に至った指標が9指標（41%）であった。

※基準値とは基本計画策定時の設定数値

	関連事業が概ね予定どおりに完了した	関連事業が予定どおりに完了しなかった	合計
基準値より改善 (注1)	11指標 (50%) (22指標 (39%))	0指標 (0%) (1指標 (2%))	11指標 (50%) (23指標 (41%))
うち目標達成	9指標 (41%) (13指標 (23%))	0指標 (0%) (0指標 (0%))	9指標 (41%) (13指標 (23%))
基準値より悪化 (注1)	5指標 (23%) (28指標 (50%))	6指標 (27%) (5指標 (9%))	11指標 (50%) (33指標 (59%))
合計	16指標 (73%) (50指標 (89%))	6指標 (27%) (6指標 (11%))	22指標 (100%) (56指標 (100%))

※表中の〔 〕は令和4年度の状況

(注1) 目標値を現状数値の悪化率の抑制としている目標指標については、目標値と比較して数値が大きい場合には、「目標達成」、目標値には満たないものの目標年度の推計値（事業を実施しなかった場合）より大きい場合には「基準値より改善」、目標年度の推計値（事業を実施しなかった場合）より小さい場合には「基準値より悪化」として算出する。

II. 計画期間終了後の中心市街地活性化基本計画の評価

各自治体が市街地の状況や中心市街地活性化協議会及び市民の意見等を参考に、計画した事業が順調に完了したかどうか、また、中心市街地という単位で活性化が見られたかどうかについて総合的な評価を行った。

(1) 事業の進捗・完了状況及び活性化状況に係る自治体の自己評価

- 対象7市7計画のうち6計画について、計画した事業が概ね予定通り進捗・完了したと判断されている。
- 対象7市7計画のうち4計画について、各自治体の自己評価により中心市街地の活性化が見られたとされている。

【事業の進捗・完了状況】

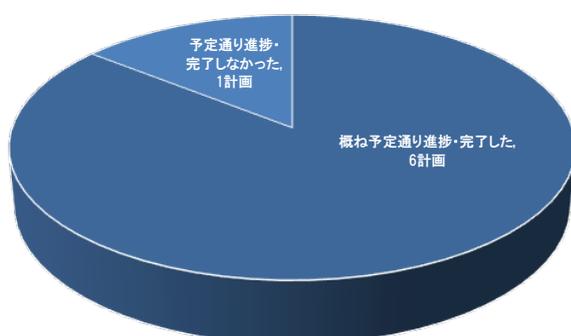
(計画期間終了後の状況)	概ね予定通り進捗・完了した	予定通り進捗・完了しなかった
計画数 (全7計画)	6計画	1計画

【活性化状況】

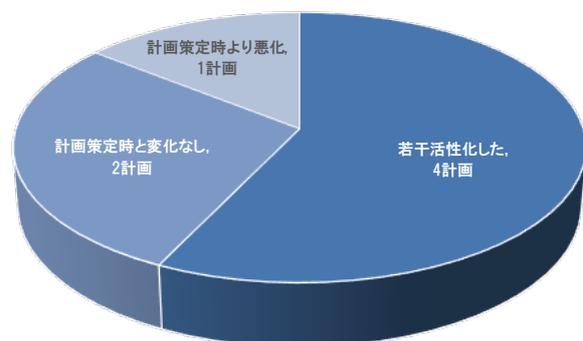
(計画期間終了後の状況)	活性化した	若干活性化した	計画策定時と変化なし	計画策定時より悪化
計画数 (全7計画)	0計画	4計画	2計画	1計画

※計画した事業は予定通り完了したのか、また中心市街地の活性化は見られたのかを、個別指標毎ではなく、総合的に自治体が判断したものを。

【事業の進捗・完了状況】



【活性化状況】

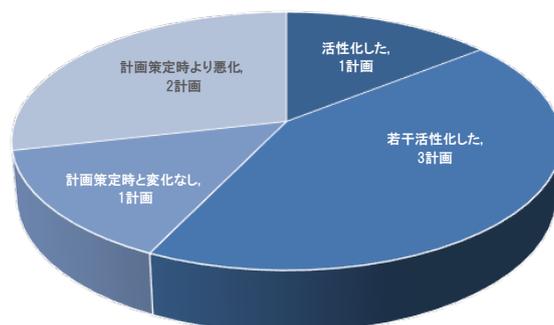


(参考①)中心市街地活性化協議会からの評価

- 対象7市7計画のうち4計画について、各自治体の中心市街地活性化協議会から中心市街地の活性化が見られたとされている。

(計画期間終了後の状況)	活性化した	若干活性化した	計画策定時と変化なし	計画策定時より悪化
計画数 (全7計画)	1計画	3計画	1計画	2計画

※中心市街地という単位で活性化が見られたかどうかを中心市街地活性化協議会として判断。

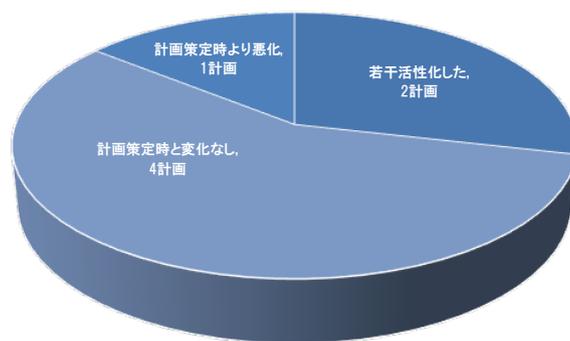


(参考②)市民からの評価、市民意識の変化

- 対象7市7計画のうち2計画について、各自治体の市民から中心市街地の活性化が見られたとされている一方、4計画については計画策定時と変化なしとされている。

(計画期間終了後の状況)	活性化した	若干活性化した	計画策定時と変化なし	計画策定時より悪化
計画数 (全7計画)	0計画	2計画	4計画	1計画

※中心市街地の活性化状況について市民意識調査等により市民の声を聴取し、市民意識の変化を総合的に判断。



Ⅲ. 目標指標分野別分析結果の概要

各自治体が最終フォローアップを行った目標指標を5分野に分類し、各分野の取組の進捗状況、目標達成状況、基準値からの改善状況等について分析した。

(1) 集計結果

目標指標分野別集計結果

- 各自治体が最終フォローアップを行った目標指標に係る取組の進捗・完了状況及び目標達成の状況等について、以下の①～⑤の5つに分類した上で集計を行った。

達成状況	全体	①にぎわいの創出	②街なか居住の推進	③経済活力の向上	④公共交通の利便の増進	⑤その他
A	9	3	2	4	—	—
a	0	0	0	0	—	—
B1	1	1	0	0	—	—
b1	0	0	0	0	—	—
B2	1	0	0	1	—	—
b2	0	0	0	0	—	—
C	5	4	0	1	—	—
c	6	4	1	1	—	—
合計	22	12	3	7	—	—

<達成状況の分類>

- A 目標達成（関連する事業等は概ね予定どおり進捗・完了）
a 目標達成（関連する事業等は予定どおり進捗・完了しなかった）
B 1 基準値から目標値までの幅の8割ラインを超えている（関連する事業等は概ね予定どおり進捗・完了）
b 1 基準値から目標値までの幅の8割ラインを超えている（関連する事業等は予定どおり進捗・完了しなかった）
B 2 基準値より改善しているが、基準値から目標値までの幅の8割ラインには及ばない
（関連する事業等は概ね予定どおり進捗・完了）
b 2 基準値より改善しているが、基準値から目標値までの幅の8割ラインには及ばない
（関連する事業等は予定どおり進捗・完了しなかった）
C 基準値に及ばない（関連する事業等は概ね予定どおり進捗・完了）
c 基準値に及ばない（関連する事業等は予定どおり進捗・完了しなかった）

※目標値を現状数値の悪化率の抑制としている目標指標については、目標値と比較して数値が大きい場合には、「A、a」、目標値には満たないものの目標年度の推計値（事業を実施しなかった場合）より大きい場合には「B 1、b 1、B 2、b 2」、目標年度の推計値（事業を実施しなかった場合）より小さい場合には「C、c」としてそれぞれ算出する。

<目標指標分野と主な目標指標例>

目標指標分野	主な目標指標
①にぎわいの創出	歩行者・自転車通行量、宿泊観光客数 等
②街なか居住の推進	中心市街地における人口の社会増減数、市全体に占める中心市街地の居住人口の割合
③経済活力の向上	空き店舗数、新規出店数 等

(2)取組の進捗状況

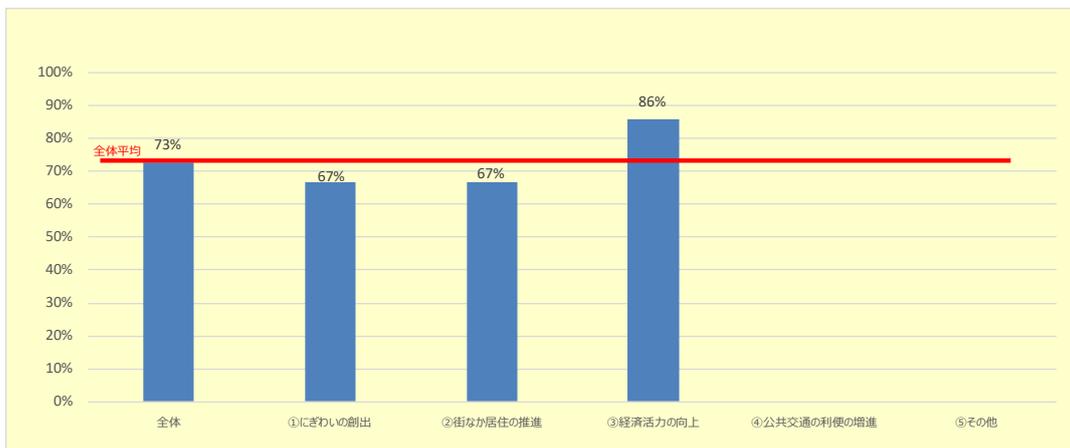
取組の進捗状況に関する分析結果

○「にぎわいの創出」、「街なか居住の推進」に関する取組が順調な割合は全体平均より低いものの、「経済活力の向上」は、7指標中6指標の取組が順調に推移している。

<各目標指標分野の取組の進捗状況の割合>

	全体	①にぎわいの創出	②街なか居住の推進	③経済活力の向上	④公共交通の利便の増進	⑤その他
①順調 (A+B+C)	16	8	2	6	—	—
②順調でない (a+b+c)	6	4	1	1	—	—
合計 (③=①+②)	22	12	3	7	—	—
取組が順調な割合 (①/③)	73%	67%	67%	86%	—	—

<目標指標分野別の取組が順調な割合>



<参考：年度別の取組が順調な割合と指標数>



(3)目標達成の状況

目標達成状況に関する分析結果

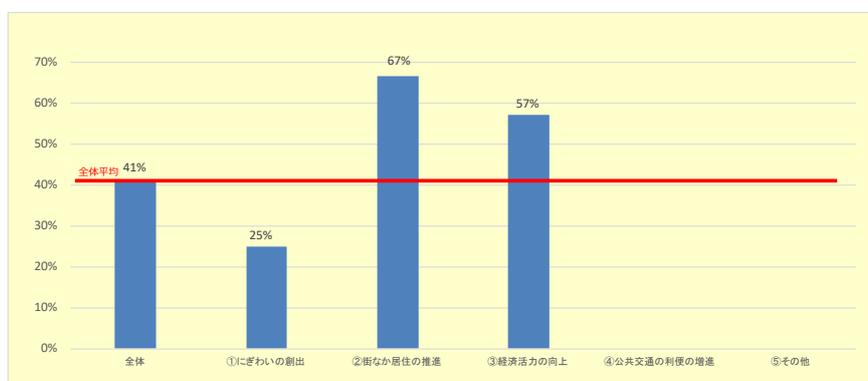
- 目標を達成した目標指標は、9指標で全体の**41%**である。(令和4年度 23%)
- 「街なか居住の促進」及び「経済活力の向上」の目標達成率は、全体平均を上回っており、一定程度、取組の効果が発現していると考えられる。
- 一方、「にぎわいの創出」については、新型コロナウイルスの感染拡大によるイベントの中止、公共施設等の利用制限などが影響し、全体平均を下回ったものと考えられる。

<各目標指標分野の目標達成状況>

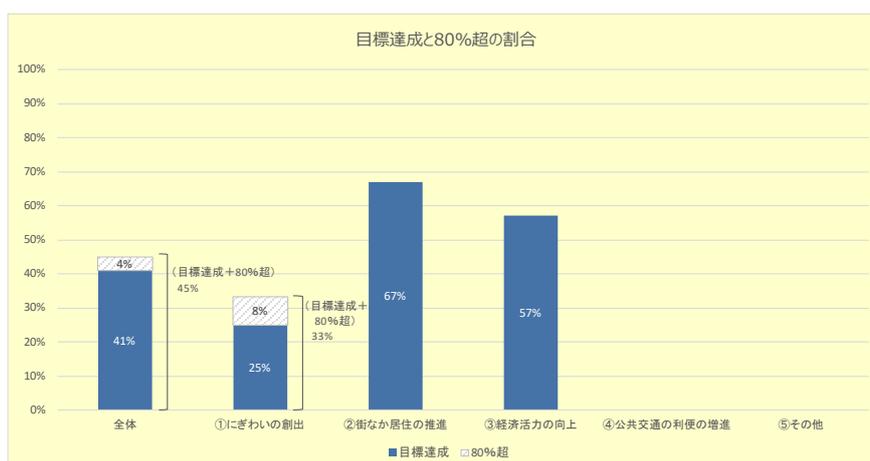
	全体	①にぎわいの創出	②街なか居住の推進	③経済活力の向上	④公共交通の利便の増進	⑤その他
①目標達成 (A + a)	9	3	2	4	—	—
②未達成 (B + b + C + c)	13	9	1	3	—	—
合計 (③=①+②)	22	12	3	7	—	—
目標達成率 (①/③)	41%	25%	67%	57%	—	—
④概ね目標達成※ (A + a + B1 + b1)	10	4	2	4	—	—
概ね目標達成率 (④/③)	45%	33%	67%	57%	—	—

※概ね目標達成の基準は、基準値から目標値までの幅の80%を超えるものとする

<目標指標分野別目標達成率の比較>



<目標達成と概ね目標達成（80%超）の割合>



目標が達成できなかった主な要因

- 目標が達成できなかった13指標の主な要因は、次のとおりである。
 - ① 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、目標指標の達成に影響が生じた。
 - ② 物価高騰等の社会情勢の影響等により、事業の遅延や未着手が生じ、計画期間内に効果が発現しなかった。

- 目標が達成できなかった要因の事例については、下記のとおりである。
 - ① の具体例について
 - ・ 新型コロナウイルスの感染拡大の影響が残っており、外出自粛、イベントの中止、公共施設等の利用制限が発生したため、多くの自治体において目標指標の達成に影響が生じた。
 - ・ 市民等の生活スタイルや消費行動が大きく変化する中、新型コロナウイルス感染症の影響により、店舗に足を運ぶ機会が遠のく等の影響を受けたことで路面店が閉店となり、歩行者通行量や空き店舗・空き地率といった目標指標に影響が生じた。

 - ② の具体例について
 - ・ 社会情勢の変化に伴う資材高騰や資材不足等により、計画内容や納期の見直しを行い工期の延長を行ったため、令和6年度以降に効果が発現。
 - ・ 市営住宅の整備において、地域住民向け説明会后、近隣住民からの規模縮小などの嘆願書が提出され、計画変更による再設計に時間を要した。
 - ・ 空き地や空き店舗を活用した新規事業者の参入機会の創出につながるコンテンツの誘致や発掘に取り組む予定であったが、物価高騰等の社会情勢の影響から経営難により、整備の実施に至らなかった。

(4)基準値からの改善状況

基準値からの改善状況に関する分析結果

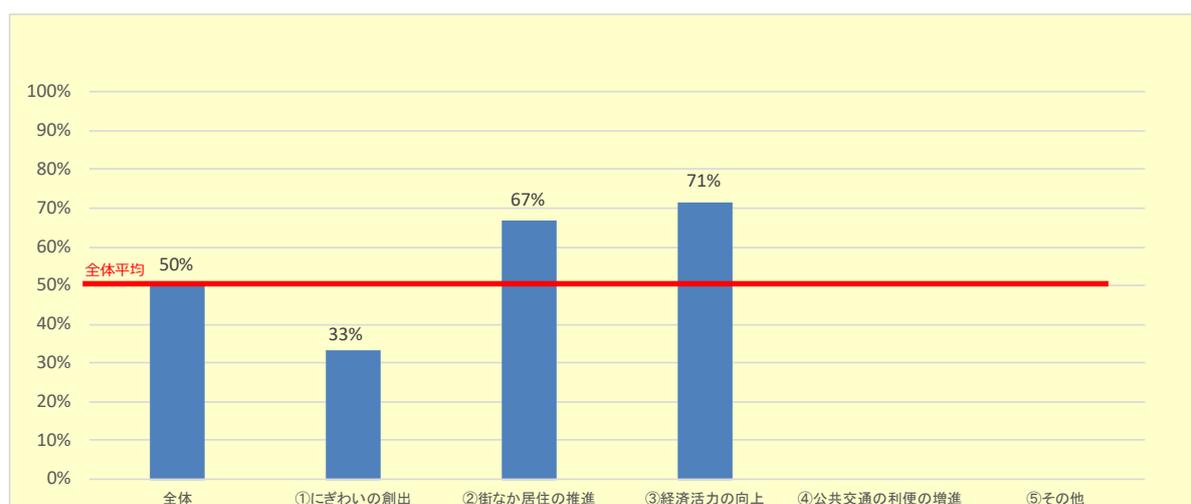
- 現況（実績値）が計画当初の状況（基準値）より改善している目標指標は、全体の**50%**である。（令和4年度 41%）
- そのなかで「街なか居住の推進」及び「経済活力の向上」に関する目標指標は、実績値が基準値から改善している目標指標の割合（基準値改善率）が全体平均を大きく上回っている。
- 一方、「にぎわいの創出」については、新型コロナウイルス感染症拡大によるイベントの中止、公共施設等の利用制限などが影響し、全体平均を下回ったものと考えられる。

<各目標指標分野の改善状況>

	全体	①にぎわいの創出	②街なか居住の推進	③経済活力の向上	④公共交通の利便の増進	⑤その他
①基準値より改善 ^(注1) (A + <u>a</u> + B + <u>b</u>)	11	4	2	5	—	—
②基準値より悪化 ^(注1) (C + c)	11	8	1	2	—	—
合計 (③=①+②)	22	12	3	7	—	—
基準値改善率 (①/③)	50%	33%	67%	71%	—	—
上記のうち、 取組の進捗が 順調だったもの	①'基準値より改善 ^(注1) (A + B)	11	4	5	—	—
	②'基準値より悪化 ^(注1) (C)	5	4	1	—	—
	合計 (③' = ①' + ②')	16	8	6	—	—
	基準値改善率 (①'/③')	69%	50%	100%	83%	—

※取組の進捗状況及び目標達成状況の分類（P4参照）のうち、「現況（実績値）が計画当初の状況（基準値）より改善している」ものは、A、a、B1、b₁、B2及びb₂が該当する。

<目標指標分野別基準値改善率の比較>

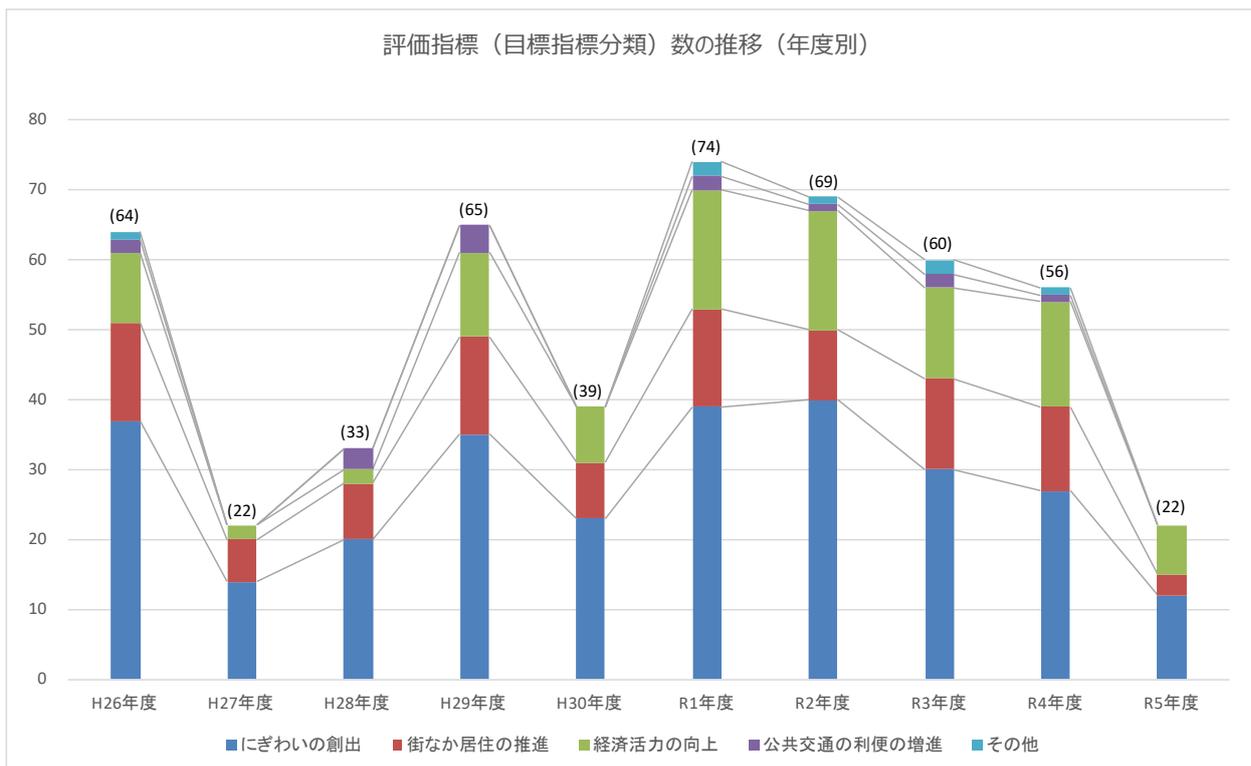
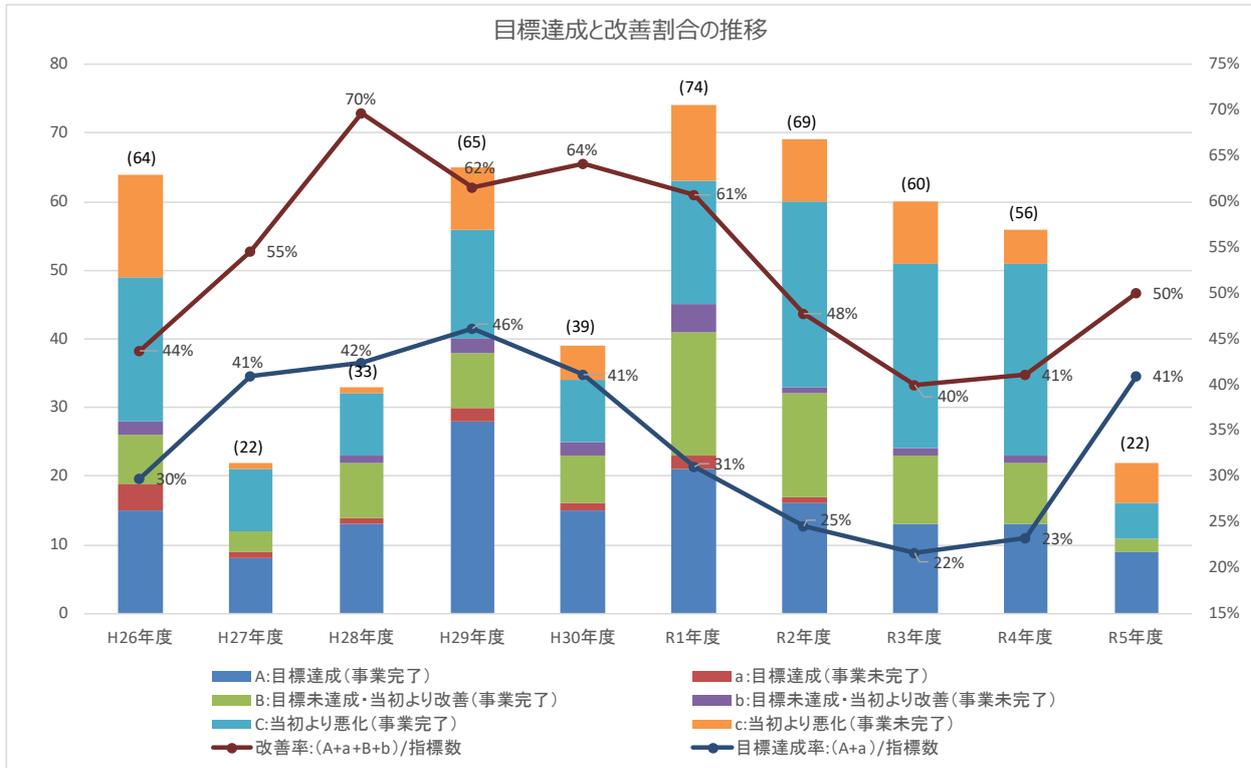


(注1) 目標値を現状数値の悪化率の抑制としている目標指標については、目標年度の推計値（事業を実施しなかった場合）より大きい場合には「基準値より改善」、目標年度の推計値（事業を実施しなかった場合）より小さい場合には「基準値より悪化」として算出する。

評価指標数と目標達成状況の推移

令和6年7月現在、累計151市4町283計画の中心市街地活性化基本計画が認定を受け、そのうち144市2町230計画について、計画期間終了後に最終フォローアップ報告書を作成している。(次の計画期間に入っている自治体を含む。)

最終フォローアップにおける、各計画の評価指標(目標指標分類)数と目標達成状況の推移は以下のとおり。



IV. 取組の進捗・完了状況及び目標達成状況に関する各自治体からの報告

都道府県名	市町村名	目標	目標指標	達成状況	進捗・完了状況	活性化状況		
						自治体評価	中活協議会評価	市民評価
平成30年3月23日認定								
鹿児島県	鹿児島市	商業・サービス機能の強化	空き店舗数	B2	①	②	④	②
		稼ぐ観光の実現	宿泊観光客数	C				
平成30年6月28日認定								
岐阜県	中津川市	商業の活性化による吸引力の強化	新規出店数	A	①	②	②	③
		観光客を惹きつける資源活用の強化	特定施設等観光客入込数	E				
		市民の居場所や活動の場所としての魅力の強化	都市福祉施設利用者数	B1				
			歩行者通行量	A				
平成30年11月9日認定								
青森県	八戸市	街なかの賑わい創出(来街機会の創出と回遊性の向上)	歩行者通行量11地点(平日・休日の合計)	C	①	④	④	④
			公共施設来館者数	C				
		起業支援と魅力ある商店街・オフィス街づくり	空き店舗・空き地率	C				
		街なかの居住推進と移動の利便性向上	中心市街地における人口の社会増減数	A				
平成31年3月18日認定								
青森県	黒石市	魅力と活力ある商業環境づくり	新規出店数	A	①	③	②	③
			主要イベント入込数	E				
		街なかのにぎわい創出	歩行者通行量	E				
青森県	十和田市	芸術・歴史・文化を活かした、魅力的な市街地の形成	歩行者・自転車通行量	E	②	③	③	③
		歩いて暮らせる安心・快適な生活環境と、利便性の高い市街地の形成	社会増減数	E				
			空き地・空き店舗数	E				
福島県	須賀川市	魅力あるコンテンツを増やし、休日における回遊性を向上させる	休日歩行者通行量	A	①	②	①	③
		新たに店舗を構える人を増やす	新規出店数	A				
		公共施設・空間の民間活用を増やす	民間事業者における対象施設利用件数	A				
茨城県	土浦市	休日のにぎわい創出	休日の歩行者・自転車交通量	C	①	②	②	②
		商業・業務機能の活性化	新規出店・起業数	A				
		まちなか居住人口の増加	中心市街地居住者人口割合	A				

<各目標の達成状況> (自治体評価)

- A 目標達成 (関連する事業等は概ね予定どおり進捗・完了)
- a 目標達成 (関連する事業等は予定どおり進捗・完了しなかった)
- B1 基準値から目標値までの幅の8割ラインを超えている (関連する事業等は概ね予定どおり進捗・完了)
- b1 基準値から目標値までの幅の8割ラインを超えている (関連する事業等は予定どおり進捗・完了しなかった)
- B2 基準値より改善しているが、基準値から目標値までの幅の8割ラインには及ばない (関連する事業等は概ね予定どおり進捗・完了)
- b2 基準値より改善しているが、基準値から目標値までの幅の8割ラインには及ばない (関連する事業等は予定どおり進捗・完了しなかった)
- C 基準値に及ばない (関連する事業等は概ね予定どおり進捗・完了)
- c 基準値に及ばない (関連する事業等は予定どおり進捗・完了しなかった)

<事業の進捗・完了状況> (自治体評価)

- ① 概ね予定通り進捗・完了した
- ② 予定通り進捗・完了しなかった

<活性化状況> (自治体評価、中心市街地活性化協議会評価、市民評価)

- ① 活性化した
- ② 若干活性化した
- ③ 計画策定時と変化なし
- ④ 計画策定時より悪化